

堂谷津の里 自然だより

2020年 4月

2020. 4. 1

新型コロナウイルスの感染を危惧して外出もままならない日が続いています。堂谷津の里では、いつもの年と変わりなく可憐な野草が咲いてチョウが飛び、ウグイスとシュレーゲルアオガエルの声が谷津に響き渡ります。田植えに向けた準備にも余念がありません。安心して活動できるまで健康管理を心掛けたいですね。



ツボスミレ



タチツボスミレ



フデリンドウ



ニリンソウ



シュンラン

雑木林の花たち

春は足もとから。可憐でかわいい花が咲いています。
● 4月後半開花



ジュウニヒトエ



ミツバツチグリ



チゴユリ



ヒトリシズカ



ホタルカスラ



ウラシマソウ

春だけの アブ・チョウ



長い口吻で蜜を吸う

ピロードツリアブ



草はらのチョウ

ツマキチョウ



雑木林のチョウ

ミヤマセセリ

<季節メモ> 可憐な花“スミレ”、繁殖力は雑草並み！

里山を歩いてスミレに出会うと嬉しくなります。そのスミレ、実は生命力、繁殖力抜群なんです。可憐なスミレ、強さの秘密は3つ。
①開放花と閉鎖花（咲かない花）があり、閉鎖花は閉じた花の中で自家受粉、確実にタネを残します。
②タネを弾き飛ばします。
③タネにアリの好きな甘いもの（エライオソーム）が付いているのでアリはエサとしてタネを遠くまで運びます。スミレの生き残り戦略に驚きます。



一面に咲く



アカネスミレ

写真・編集：晝間